



平成18年10月27日

大阪経済記者クラブ会員各位

東アジア企業家交流プログラムの実施結果報告について

【お問合せ先】

大阪商工会議所国際部（斎藤、杖谷）

☎ 06 - 6944 - 6400

大阪商工会議所広報企画担当（西田）

☎ 06 - 6944 - 6324

大阪商工会議所国際ビジネス委員会（委員長＝足立哲・丸紅執行役員・関西担当役員）では、対日進出に関心を寄せる東アジア地域の企業10社の経営トップらを10月24日から5日間にわたって大阪に招聘し、日本市場への参入を支援する総合的なプログラムを提供した。

今回のプログラムは、産業交流センター、大阪外国企業誘致センター、グローバル・ビジネス振興協議会と共同で実施。参加企業に対して大阪における拠点作りに必要な情報を提供すると共に、大阪に進出を果たした外資系企業やテンポラリーオフィスなどを視察。また、個別商談会、企業訪問に加え、対日進出を支援するサポート企業等との交流会を開催し、ネットワーク作りの後押しを行なった。本プログラムは大阪商工会議所が推進している「大阪賑わい創出プラン」の一環。目覚しい経済成長を続ける東アジア地域との連携を図り、「アジアの中核都市・大阪」を目指すのが狙い。

開催結果（概要）

- 開催期間：10月24日（火）～28日（土）
- 参加企業：4ヶ国・地域（台湾、香港、韓国、中国）から10社10名の経営幹部
- 開催場所：大阪商工会議所ほか
- 主 催：大阪商工会議所、産業交流センター、大阪外国企業誘致センター（O-BIC）、グローバル・ビジネス振興協議会
- 協 力：台湾貿易センター大阪事務所、香港貿易発展局、韓国貿易公社（大阪）
上海市対外投資促進センター、山東省政府駐日本経済貿易事務所
日中協力法律事務所
- 主なプログラム：
 - 10月25日（水）
 - ・足立国際ビジネス委員会委員長、西田健一前委員長（丸紅理事）との懇談会
 - ・灘本正博・産業交流センター委員長をはじめ、主催者構成機関、協力機関との懇親会
 - ・大阪に進出した外資系企業視察（韓国 NC soft ジャパン社、豪州サーブコープ社）
 - ・大阪企業家ミュージアム見学
 - 10月26日（木）
 - ・日本進出にあたっての留意点レクチャー（会社設立、インセンティブ、人材確保）
 - ・加藤誠・副会長をはじめ、大阪進出サポート企業等とのネットワーキング交流会



- ・在阪企業との個別商談会（午後）
10月27日（金）
- ・関心企業への個別訪問（終日）

< 商談結果速報 >

- 個別商談結果：日本企業34社との間で計50件の個別面談を実施。
- 企業訪問結果：日本企業23社への個別企業訪問をアレンジし実施。

上記の結果、参加企業1社あたり平均7.3件の個別面談をアレンジ。

- 参加企業10社へのアンケート結果：以下の通り

1年以内に進出を計画	4社
2～3年以内に進出を計画	2社
時期は未定だが進出を計画	1社
当面、パートナーの発掘を優先	3社

具体的な進出計画を策定中の企業については、大阪外国企業誘致センターが中心となって順次フォローアップを行なっていく予定。

（ご参考）

< 産業交流センター >

・1985年設立。外国の大阪理解を促進し大阪のファン作りを目的に、奨学金事業と研修事業を実施。2002年度からは大阪プロモーション・交流事業と産業別の招聘（研修）事業に特化し、これまでに海外ミッション・研修プログラムの受け入れ、ならびに観光・バイオ・ITなど大阪の重点産業の発展に寄与する分野における招聘事業を実施している。大商を中心に大阪府・大阪市・関経連・同友会・関経協で運営。運営委員長は灘本正博・大商専務理事。

< 大阪外国企業誘致センター（O-BIC） >

・大阪経済の活性化をはかるため、大阪府、大阪市、大商が共同で対日（大阪への）投資に必要な情報をワンストップで提供する「大阪外国企業誘致センター（O-BIC）」を2001年に設置し、官民共同で外資誘致活動を展開。運営は大阪対外ビジネスプロモーション協議会（会長＝野村明雄・大商会頭）が担っている。

< グローバル・ビジネス振興協議会 >

・1980年代半ばから实际的な国際商談会「G-BOC（世界ビジネスコンベンション）」を開催し出会いの場を提供。2001年からはインターネットを利用した国際ビジネス支援サイト「サイバーG-BOC」に転換。2003年から開始したバーチャル商談会は有料の仮想見本市会場で、事務局で各社のニーズにあった取引先を発掘するビジネスマッチングサービスを提供。協議会会長は野村明雄・大商会頭。構成メンバーは、大阪府、大阪市、大商、大阪証券取引所、産業技術総合研究所、日本貿易振興機構

以 上